

大岡小学校4年生福祉出前講座

～福祉体験「車いす体験」「白杖体験」「ボッチャ体験」～

日時：6月16日(月曜日) 8:20～12:00

対象：4年生60名(1組30人、2組30人)

場所：大岡小学校体育館

主催：沼津市社会福祉協議会

協賛：大岡地区社会福祉協議会・静岡県コミュニティスポーツ協会・白杖体験(かたつむり)

小学生向けの福祉体験は、子どもたちが、障がいや高齢者に伴う心身の変化を理解し、思いやりの心を育てることを目的としています。体験を通して、地域で暮らす人々の生活課題に目を向けて行動するきっかけを作ることを目指します。

～車いす体験～

小学生向けの車いす体験授業は、車いすの操作方法や介助の仕方を学び、車いす利用者の視点や気持ちを理解する良い機会です。体験を通じて、バリアフリーの安全への配慮の大切さを学ぶことができます。

① 車いすの操作と介助の基本を学ぶ。② 車いす利用者の気持ちを理解する。③ バリアフリーや安全への配慮を学ぶ。④ 共生社会への意識を高める。

車いす体験のねらいは、**障害のある方の生活を理解し、介助の必要性や思いやりを学ぶことです。**実際に車椅子に乗ることで、普段は気づかないような不便さや障壁や障害を感じ、より多くの方が暮らしやすい社会の実現に向けて考えるきっかけとなると思います。

～ボッチャ体験～

小学生向けのボッチャ体験会は、**生涯スポーツとしてボッチャの普及を目指す中で、各地で実施されています。**ボッチャは、年齢や障害に関わらず楽しめるスポーツであり、小学生が体験することで、その面白さを知る良い機会となっています。

① 戦略的があり年齢や体力に関わらず楽しめる。② チームで協力を行うため、コミュニケーション能力や協調性を養う。③ パラリンピックの正式種目であるため、障害者スポーツへの理解を深めるきっかけになる。

～白杖体験～

小学生を対象とした白杖体験は、**視覚に障害のある人の日常生活を理解し、共生社会を築く上で重要な体験です。**白杖の役割や使い方を学び、視覚障害のある人への適切な関わり方を学ぶことができます。

① 視覚障害への理解、白杖が視覚障害者の移動を助ける道具であることを理解する。② 共生社会への意識、視覚障害のある人がどのように生活しているかを体験し、共生社会への意識を高める。③ 適切な関わり方、困っている視覚障害者を見かけた際に、どのように声をかけ、手助けをすれば良いか学ぶ

④ 視覚以外の感覚(聴覚、触覚など)を意識し、活用する方法を学ぶ⑤ 視覚障害者を誘導する体験、困っている視覚障害者見かけた際の声のかけ方や手助けの方法学ぶ。

